

問8 社会全体で見て男性の方が優遇されている原因について

	男性が優遇されていると思えない(30代男性)(40代男性)
	女性をあまりに立てるから今のような少子化になった。女性は昔のように家で子どもを教育するようにすると人口も必ず多くなる。(40代男性)
	別に男性が優遇されているとは思わないし、女が子ども、家庭を守ることはなによりも大切なのでは。差別とか何とかという前に自分が今何をすべきかを考えては(50代女性)
	女性の態度や能力の問題(60代男性)

問9 今後、男女があらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは

	育児や家庭での仕事を男性も手伝える制度や会社での休暇届を出しやすい環境を作る(20代女性)
	まず何をもって平等と言えるのか、社会全体の共通認識を持つ(20代男性)
	この先ずっと男女平等なんてありえない(30代男性)
	男性の考え方の問題。支配精神を少しでも無くせばよい(30代男性)
	女性が優遇されている面も含めて平等にする必要がある(30代男性)
	今は平等より女性の方が出しゃばりすぎる。(40代男性)
	もう平等だと思う(40代男性)
	男女があらゆる分野で平等にするのは無理ではないか(40代女性)
	男女が必ずしも全く平等になる必要はない(50代男性)
	男性は男性、女性は女性の役割を身につけること(60代男性)
	男性の能力と女性の能力の違いを認め合うこと(70代以上男性)

問10 行政、地域、職場等において、政策や方針決定の過程に女性があまり進出していないことについて

	男性優位は当然である。女性は社会進出の必要はない(30代男性)
	男性が女性の力を認め、評価しないから(40代女性)
	子育て、介護等で仕事を休むことがあるから(50代女性)

問11 一般的に女性が職業を持つことについて考えるか

	産休期間を充実させてしっかり子育てし職場に復帰する(20代男性)
	辞めざるを得ない。妊婦で雇ってもらえる所は無いに等しいと思う(20代女性)
	子どもができて仕事をしたければすばいし家事がしたいのなら仕事を無理にする必要はない。女性の気持ち次第(20代女性)
	子どもができたなら仕事を休み、元の職場に復帰するのがよい(30代女性)
	本人の意思による(30代女性)(40代女性)(30代男性)
	個人の自由(40代女性)
	やりたい時にやる、やめたい時にやめる(50代男性)
	もちたいと思えばもてばよいし、子育てをしたいと思えばすばい(50代女性)
	自分の子どもを育てる期間は少ししかないことも自覚してほしい。他人任せの育児も考えるべきでは。仕事もするべきだと思います(50代女性)
	夫婦どちらかが働きどちらかが面倒をみる(60代男性)
	本人の意欲により続けられればよい(60代女性)
	家族の協力、保育所の充実で女性も定年まで(または一生)続ける方がよい(70代以上女性)

問14 ワーク・ライフ・バランスを進めることによる効果について

	時間的に余裕を持てるが、収入面に不安を感じる(30代男性)
	家庭や家族を大切にできる(40代女性)
	理想論。現実はどこらかにしわ寄せがくる(40代女性)

問15 ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なことは

	推進しなくてよい(30代男性)
	社会全体が利益追求になっているので土日は休むとか深夜営業はしないなどの法整備をしたほうがよい(40代女性)

問18 男性が家事や育児に参加する機会が少ない理由

	男性の意識の問題と職場環境(20代女性)
	男性は育児休暇が取りにくい(30代女性)
	社会的に参加する機会を作るようにできていない(30代女性)
	子どもが母親を求める(40代女性)

問19 子どもの育て方について

	基本は女の子は女の子らしく…だが、明確な目標があるなら望むように(20代女性)
--	---

問20 安心して子どもを産み育てるために必要なことについて

	大きくなってからの子どもへの補助(大学等教育補助)など(20代女性)
	不妊治療対策(30代男性)
	出産手当が増加する分、産婦人科の出産費用が比例して増加している。意味がない(30代男性)
	出産費用助成の増額(30代女性)
	会社の制度や考え方を变える必要がある(40代男性)
	子どもが育った後、就職先があること(40代女性)
	教育において、親になるということの責任感を養う(50代女性)
	私達が子育て中は市は何もしてくださらなかった。いくら声かけしても無視。今になってこういった調査はおかしい(60代女性)

問27 配偶者間暴力への取り組みとして必要なことについて

	実態を知る必要がある。近所、隣人のサポートも必要(20代女性)
	厳罰化(30代男性)
	両者へのカウンセリング(40代女性)

問30 今後、男女平等を推進していくために、学校で行うとよいと思うものは

	過度に干渉すべきでないと思う(20代男性)
	平等にこだわりすぎず男性としての役割、女性としての役割を教えるべき(20代女性)
	平等でなくてよい。男が尊重されるべきである(30代男性)
	保護者会などは父親参加を望む(50代女性)
	男女別にある規則を撤廃する(60代男性)

問33 多くの場合、女性が介護を担っていることについて

	女性が介護するのが当然とは思わないが、男性より女性のほうが安心する(20代女性)
	本人の意思にもよる(30代女性)
	近くにいてすぐにできる者がやらなければならない(50代男性)
	できる人がすればよい(60代女性)
	できるだけ交代して行う(70代以上女性)

問34 「男女共同参画社会」の形成のために、市が力をいれていくべきことについて

	女性に「女性だから」と思わせない取組を(40代男性)
--	----------------------------

問35 自由意見

20代男性

	男女平等に対する「差別」と「区別」について考える必要があると思う。差別は良くないが身体能力等に違いがあることからある程度の区別は必要であると思う
	男女を平等にするなら女性にも覚悟が必要(キツイ・汚い仕事に女性がつけるのか。)社会経済の良い所だけ女性と共同にならないようにしてほしい。家庭の仕事を男女で均等に分ける事が良いとは思わない。働く、家事、育児を夫婦で同じにすると、負担が倍になる場合があると思う

20代女性

	男性の女性に対する根本的な意識改革が必要(20代女性)
--	-----------------------------

30代男性

	職場で例えると、上司等の理解力の改善が必要。男性にはどうしても仕事がついてくるので自由がきかない(マイナス評価等)。職場の視察等する団体があればよいのでは
	「男は男らしく、女は女らしく」は、もともと体や心が違うので否定はしないが、今の高齢者の考えは啓発や研修などでは変わらない。世代が代われれば変わっていくもの
	男女共同参画など全く必要がない
	箱物を作らず、もう少し人間のことを考えてほしい

40代男性

	今後地域社会へ意識啓発を行うためにどんなことをしたらよいのか具体的な内容を検討する必要があるのでは
	女性に限らず市民の視点から困っている事、問題点をピックアップして市政に活かして欲しい
	企業が男性の長時間労働を是正できるような施策を行政に望む
	女性にもっと責任ある仕事をしてもらおう。全てのことに積極的に参加してもらおう
	男女は基本的に体のつくりが違ってそれぞれの適正がある。差別と区別もあって当然だと思う。特に女性は子どもを産む機能があり、育てる母性も兼ね備えている。これは男性がまねのできないことである。全てを平等になんて無理に決まっているのでそれなりのラインで妥協してしまう。DVは女から男に対する言葉の暴力が最近増加しているのではないのでしょうか。社会的には女性のほうが被害者的に見られがちですが、そうでないケースは非常に多いかもしれませんよ。男女共同参画が女性のためだけのものになっているような気がしてなりません

40代女性

	男女共同参画といっても男として、女としてそれぞれの役割もあると思います。昔の社会「男性上位」、男性を立てる社会で女性が虐げられた反動でもあると思います。何を誰が行うかはそれぞれの家庭や社会で違うと思いますが、「男だから」「女だから」ではなくどう協力し合っていくかだと思います
	性差ばかりに目を向けるのではなく、個人差に目を向けていくことが真の男女共同参画ではないのか
	女性が仕事を持つことが自立のようにいう人がいるが、子育てに専念するという選択肢も尊重され続けてほしい。共同参画社会の推進がただの共働き社会の推進になると、子どもが犠牲になると思う
	介護疲れを経験し、ケアマネ等に相談したことがあるが、相談窓口がもっと分かりやすくなればよい
	男女共同参画について、女性が優位に立てばよいという考え方が見られると思います。あくまでも共同参画を重点に
	女性が働きやすい、また、活動しやすい状況を作り出せるよう、学習、家庭支援を充実できるように努力することも大切だと思います

50代男性

	今後、介護しなくてはいけない人がたくさん出てくると思うので、女性、男性ともに介護講習などを多くやってほしい
	男女それぞれが備える本来の特性を認め、それぞれが不足や弱い部分を補い合うという考え方が目指すべきところである
	生活上、全く平等というわけにはいかないと思います。男性は男性らしく、女性は女性らしく「らしく」も必要です。女性の優しさは男性にとって心地よいものです。男らしい勇気はたのものしい。それぞれ適した職業や生き方があると思います
	男らしさ、女らしさが活かせる社会が作られて、その人らしく能力が発揮しあえるよう協力してやっていこう。我が家は、できることをやっているのです

50代女性

	子どもの教育はもちろんのことであるが、熟年者の啓発は必要と感じます。男性・女性とも、意識を変える、変えることができ、住みよい高梁になればよいです
	高梁ではだいぶ考え方共同になっているように思うが年配の方はまだ男を立てる考え方が強く、その考え方を若い人にまだ言うことがある。若い人は協力しながらしても口出しは年配者がまだ多い
	男女共同参画というけれど、どちらかといえば女性に都合が良くなっているように思えます。男性の立場、女性の立場、個々において違ってくると思います。それぞれの役割を尊重していくことが大切だと思う
	男女共同参画の会合など、若い年齢の人たちの参加を望む。時間的に余裕のある高齢者の参加ではあまり進歩がないと思う
	社会、会社、教育面の管理する側の意識向上が必要だと思う。言葉では「男女共同参画社会」「ワークライフバランス」等と一言で表現できるが、まだまだ女性がすべてにおいて忙しい世の中である。男性ももっと意識改革が必要である。会社では男女平等であっても、家に入ると女性が不利である場合がある。しかし、女性らしく、男性らしくは捨ててはいけないと思う。男性しかできないこと、女性しかできないこと、これはなくすることはできない
	すべてが平等になるとは思わない。それぞれの環境の中で個人が活かされるようになる男女共同参画が推進されることを望みます
	男女は平等であるが、創りには差がある。それぞれを補うことで平和になると思う

60代男性

	男女平等の職場、地域を推進することにより女性には義務も生じることを認識させる必要があり、必ずしも良いことばかりではないことを知らせるべきである。職場における遠距離通勤を男性同様に受け入れなくてはならないこと。また地域においては地域内行事で役員を受け、自己の時間を犠牲にしても地域活動に力を注がなくてはならないこと等
	私も昨年1回受講しましたが、これからも年に2～3階程度講習会等を開催してはいかがでしょうか。学習を進めてください
	3世代同居に対して支援することにより、子育て・介護の一解決策となるのではないかと
	昔ながらの習慣から「男は外で、女は中で」の考え方がある。小さい頃からの教育が大切であると思う
	市職員・議員も女性が少なすぎる
	法制面で強化を図っても個々人の意識、地域の慣習等が変化しない限り臣の男女平等とは程遠いと感じられる。男女平等に関する限り、中国が大いに参考になる
	地域社会で男女共同参画も必要であるが、今後子育て支援事業を拡充していかなければ男女共同参画を唱えても少子高齢化が進むのみと思います
	男女平等も大切ですが、之が行き過ぎると子育てが疎かになって子どもが学校から帰って寂しさを感じて非行に走ることもあるのでそれを考えて行ってほしい
	学校教育で男女平等、共同参画の意識啓発を充実し、行うこと

60代女性

	年齢を考えると介護に対して主人がどのくらい協力できるか心配である
	ある意味で女性は女らしく、男性は男らしさが必要ですが、全てが平等ではなく差別とは別に区別は各分野で必要と思われる
	介護が必要となっては息子ばかりだから息子の配偶者になる。介護が必要のないように生活を終ればと思う
	今回のアンケートでは男性の方が優遇されているとの前提でしたが、年代別では女性の方が優遇されていると思う
	言葉をはき散らしていると思う。共同参画といっても、男は男らしいところ、女は女らしいところがないといけないです。最近は男性がもう少しきりっきりしてほしい。女性が強いように思います。ちなみに私は主人にたてつくことはありません
	すべて男女平等にという訳にはいかないと思う。体力、精神力、それぞれの持ち味があると思う。それを生かしながらやればよいと思う

70代以上男性

	能力や体力の違いを考えないと平等が平等にならない
	物心両面に渡る社会構築のために、安心して働ける社会づくりが大切である
	女性の能力をもっと引き出すべく研修が必要である
	理解したいと考えている最中ですが、設問の中に私自身に「啓発目標をもっと上向きに」と指導してくれている事柄がありました。参考にして今後生活したい
	男女共同参画の推進が進められていますが、地域での意識啓発など諸行事が充実するような施策はありますか

70代以上女性

	近所で家庭内の高齢者に飲まず食わずの状態にして家に閉じ込めている。民生委員、愛育委員の方よろしくお願いします
	昭和一けた人間にはなかなか男女共同参画は取りこめない。難点がいくつもあります。徐々に自覚する、学ぶのみです
	男女ともに自分のために一生があるのではない。人のために少しでも役に立ちたいと健康に留意して過ごすことから始める